

平成29年(2017年)7月8日(土曜日)

世界かんがい遺産に登録

源兵衛川に記念看板

三島

三島市の市街地を流れる源兵衛川が昨年11月、世界かんがい施設遺産に登録されたことを受け、地元関係者が7日、記念看板を現地に設置した。

場所は上流部の、水の散歩道入り口。市民生活の一部として親しまれた過去の様子から環境悪化の進行、再生に至るまでの写真と解説文を縦8枚、横15枚のアルミ板に収めた。源兵衛川の再生整備に尽力するNPO法人グラウンドワーク三島が主体となって取り付け、同日、除幕式を行った。行政や地元土地改良区の出席者を前に渡辺豊博専務理事は「登録により新たな責任を背負った」と述べ、継続した維持保全への協力を呼び掛けた。

源兵衛川は16世紀ごろに稲作の拡大を目的に整備された。1960年代に都市化の影響で環境が悪化したが、90年代に市民や行政が一体となって清流を復活させた。

世界かんがい施設遺産は歴史的価値の高い利水施設を登録する、国際かんがい排水委員会(三島支局・河村英之)の制度。



世界かんがい施設遺産登録を受け設置した記念看板(右)
=三島市の源兵衛川